



いまいき 学びのプラン

【生涯学習計画】市民だより／65号
(平成31年12月1日発行)
《発行》岸和田市・
岸和田市教育委員会
《編集》岸和田市教育委員会
生涯学習部 生涯学習課
〒596-0072
岸和田市堺町1-1
(市立公民館・中央地区公民館内)
電話：072-423-9615～6
FAX：072-423-3011
メール：
syogaig@city.kishiwada.osaka.jp

人が咲く

ゆとり
代表 **吉田 恭子** さん

プロフィール
大阪府岸和田市在住
【学歴】
大阪府立岸和田高等学校卒
近畿大学農学部バイオサイエンス学科卒
【職歴】
(株)セブン化学 研究室研究員
独立系ファイナンシャルプランナー
家庭教師



学ぶ大切さとは 社会を生きる能力を身につけること

本市では地域の課題（環境・人権・教育・子育て・防災・世代間交流など）やニーズに応えるための「まちづくり」アイデアを募集し、優れた事業に対して、委託契約を結ぶ【まちづくり実践プロジェクト】を展開しています。
委託団体のひとつである「ゆとり」は、子どもたちの積極的な学習意欲と考える力の育成を課題として、科学実験教室を行っています。

なぜ勉強しなければならないのか――。
「ゆとり」代表を務める吉田さんも学生の頃は疑問に感じていたそうです。
「大人と子どもの当たり前は違うように、私自身、学生の頃は、親や先生からの言葉はいまいち響きませんでした。勉強は押し付けられてするものではないということは、大人になって初めて分かるものです。そのことに早いタイミングで気づくことができれば、自分の意志で目標に向かって進むことができるのではないのでしょうか」

やってみよう からはじめよう

全国学力・学習状況調査で、大阪府は全ての科目で平均正答率が全国平均を下回る結果となっています。特にその差が大きい理科においては、「観察・実験の結果などを整理、分析したうえで解釈・考察し、説明すること」が課題とされています。これからの子どもたちには、思考力、判断力、表現力の3つが重要とされており、一層の取り組みが必要です。
学んできたことが実践でき

るような場があれば、体験の幅が広がり、かつ、みんなが勉強ができるようになる、自信にもつながるのではないかと科学実験教室を始めた吉田さん。「スライム作り体験」「人工いくら作り」など子どもたちの興味に寄り添い、思考を凝らした講座やイベントを開催しています。様々な問題や体験が、答えを求めるための論理的思考力を育み、積極的に主導して何かを行う判断力、どのように感じたのか、なぜそう思ったのかなど自分の意見を伝える表現力を養うことが期待できます。

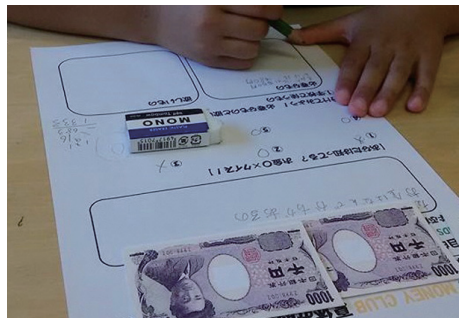
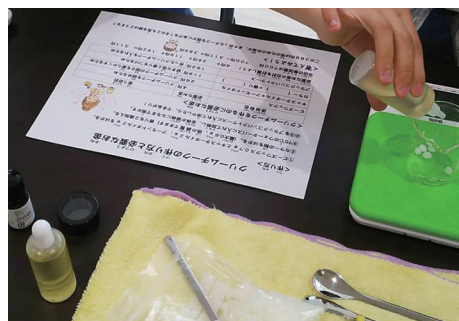
実際にやってみることで、その答えを知るから興味を持ち、新しい学びや考えることにつながります。体験して身に付いた「考える力」が「ゆとり」ある将来を築く糧となり、それが学ぶ大切さだと吉田さんは考えています。

疑問を持てる子に

吉田さんが子どもたちと関わる上で、何より大切に

社会を生き抜く力を

子どもたちが、積極的に科学実験教室に参加してくれることが吉田さんの今後の目標です。そして、いず



「ゆとり」という名前には子どもたちにゆとりある生活を送ってほしいという思いが込められています。体験を通して、日本の将来を担う子どもたちに「学ぶ大切さ」と「お金の価値」を伝えています

が、子どもたちにとって勉強する意義と将来を考える場所になつてほしい。いろいろなことにチャレンジできる力を養い、将来一緒に考える立場になる人間に育つてほしい。「ゆとり」の事業が、社会を生きる能力を身につける手助けになることを願い、日々活動されています。

と吉田さんは言います。

「ゆとり」が提供する場

が、子どもたちにとって勉強する意義と将来を考える

場所になつてほしい。いろ

んなことにチャレンジで

きる力を養い、将来一緒

に考える立場になる人間

に育つてほしい。「ゆと

り」の事業が、社会を生

きる能力を身につける手

助けになることを願い、

日々活動されています。



科学実験教室の様子
「わかりやすく楽しい！」子どもたちは普段体験できない実験に夢中です

